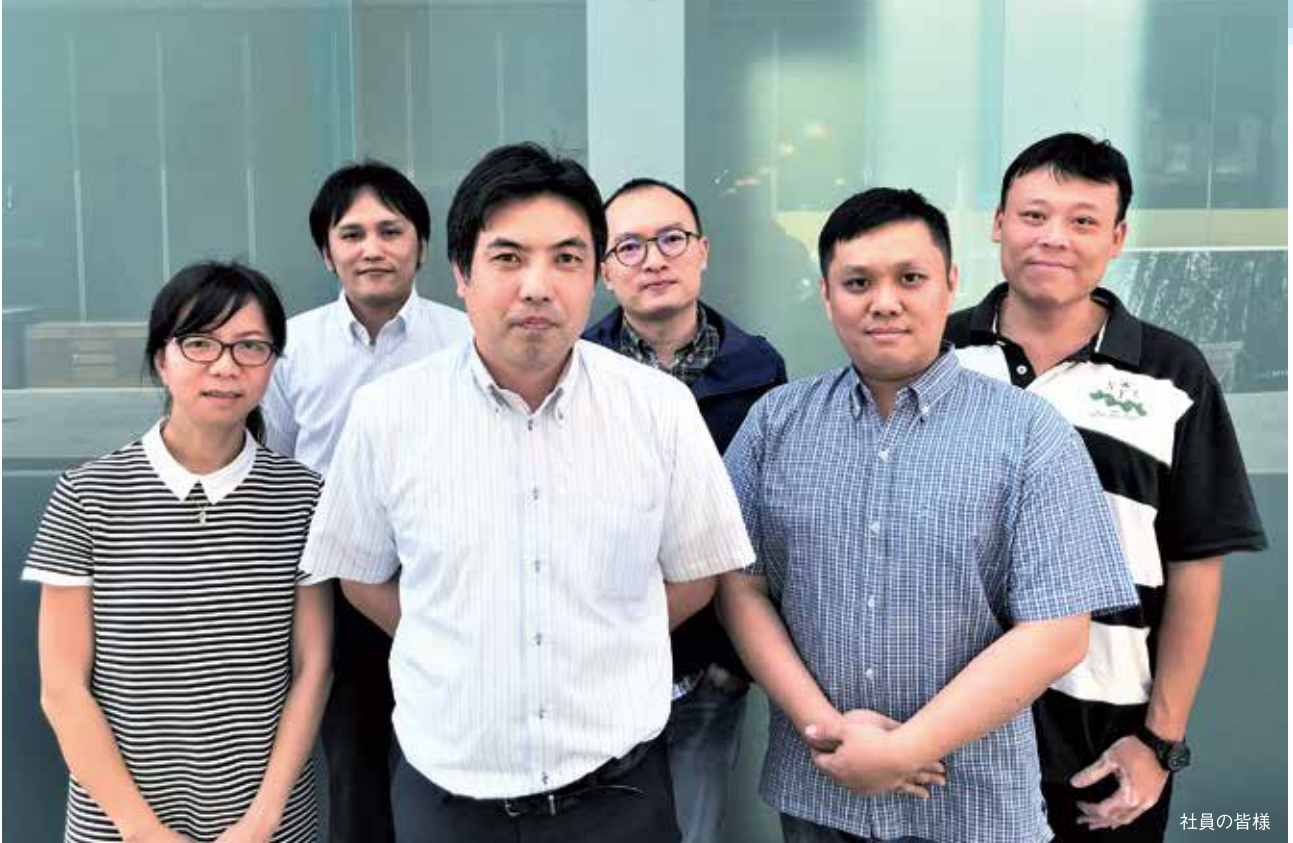




Singapore Representative Office



## シンガポール海外進出最前線



社員の皆様

海外に進出されている福岡銀行北九州営業部のお取引先企業グループのご紹介です。

## JRCS JRCS株式会社

シンガポール現地法人:JRCS ENGINEERING SINGAPORE PTE. LTD.  
(有限責任株式会社 ジェーアールシーエス・エンジニアリング・シンガポール)

はじめに

戦後、欧州・アジア貿易の中継地点として様々な海事政策を掲げてきた国、シンガポール。地理的な優位性に加え、海運関連企業に対する税制優遇措置、IT技術による通関の簡略化、海運人材の育成基金や海運事業スタートアップへの助成金設置等、官民が連携して積極的な戦略を打ち出し、現在も世界の2大コンテナ港の一つとして港湾業界をリードし続けています。

今回お話を伺ったJRCS株式会社は、下関に本社を置く今年創業70周年を迎える船舶用機器メーカー。業界では珍しく、配電盤と監視盤の両方を自社で開発・製造し、船舶の中でも、より高度な管理技術が必要とされる液化天然ガス(LNG)船等に搭載されており、高い世界シェアを占めています。同社がシンガポールに進出したのは2009年。当時、技術者として派遣され、2度目の赴任で、現在はシンガポール現地法人の代表を務められる上村明氏に、この約10年間のシンガポールにおける事業展開の様子や、今後の展望について、お話を伺いました。

### 1 シンガポール進出

当社の海外進出はオランダに続き、シンガポールが2ヶ国目でした。海外拠点の主



な目的は、お客様の船舶に搭載されている当社製品のアフターメンテナンスや修理サービスを提供することで、自分自身も技術者の1人として、シンガポール国内のみならず欧米やアフリカ諸国など、様々な場所へ赴き、お客様の船舶の安全保証維持に努めて参りました。シンガポールは、当社の高度な自動管理システムを必要とするグレードの船舶の生産数はそこまで多くありません。ただ近年、外航船においては、安全性に対する国際基準が厳格化傾向にあり、これまで船員の手作業で管理されていた船舶でも、徐々にその需要が高まってきています。そのため、現在シンガポール法人では、より多くのお客様が当社製品を直に見ていただけるようなシヨールームと、船員の方が当社システムのトレーニングを受けられるような施設を準備しています。

## 2 シンガポールの魅力とハードル

一般的にシンガポールは、価格競争が厳しい国です。特に、数ある船舶機材の中でも当社の配電盤や制御盤はいわば船の心臓部なので、高い安全性を保証する為、技術コストはどうしても大きくなります。そのため、見た目の値段からなかなかすぐに導入に至らないケースが多いのは悩みです

が、シンガポールは日本と異なり、地の利を生かした新しい営業展開が望めるという良さもあります。例えば、最近インドネシアの船員養成学校から、トレーニング用のシミュレーターとして当社の製品を導入したいというオーダーを何件かいただきました。教育機関で導入されるという事は、それだけ当社の製品の品質や技術に信頼をいただいているという事だと思えます。最近ではこうした新しいビジネスチャンスも無い込み、今では日系顧客4割、非日系顧客6割という内訳です。また、今後は日本本社に付随していた業務を現地対応化し、業務独立した体制を整えるようにしています。

## 3 業界先駆けのプロジェクト

実は日本本社でも、新しく大きな取り組みが始まるうとしています。現在、船員向けのトレーニングは日本本社の施設で行っていますが、日本から遠く離れた国や、ビザ取得の要件が厳しい国の方にとっては、研修のために来日することが大きな障壁となっています。そのため、今年当社では、日本マイクロソフト社との共同事業で、MR(複合現実)とAI(人工知能)技術を駆使した、新しい研修プログラムの開発を行うことを決定しました。このプログ

ラムが実用化されれば、世界中どこにいても、日本本社で行う研修と同じプログラムを受ける事ができ、更に自動翻訳機能によって、多言語で受講することが可能になります。またこの技術は研修だけでなく、現在主にEメールで対応している出航中の船からの緊急のサポート依頼にも対応できるなど今後の更なるサポート強化に繋がると信じています。また始まったばかりのプロジェクトですが、今後イノベーション事業にもより一層力を入れ、世界の船舶の安全性維持に貢献し続ける事が当社の目標です。

## 最後に

近年、東南アジアへ進出する日系企業数は伸び続けていますが、多くの企業が、商習慣の異なる市場での事業展開に悩んでいるのも事実です。そんな中、同社は日本とシンガポールで連携してアフターメンテナンスを含めた高いサービス提供を続けるだけに留まらず、積極的に新たなビジネスチャンスを掴み取る姿に今後の大きな可能性を感じました。

(シンガポール駐在員事務所 田中慶介)

### PROFILE

現地法人：JRCS Engineering Singapore Pte Ltd.  
 住所：26 Boon Lay Way #01-82 TradeHub 21 Singapore 609970  
 TEL：+65-6515-8286

親会社：JRCS株式会社  
 住所：山口県下関市東大和町1丁目2-14  
 TEL：083-261-0200



▲職場

